

会 報

№189 2018(平成)30年10月10日

サポート・トレッキング・グループ

事務局 呉市焼山政敏 1-12-13

ホームページ サポート・トレッキング・グループ

☎・F a x 0823-33-5836

- 9/15 灰ヶ峰 例会 銀明水 午前9時 ライトをつけても前が見えないひどい濃霧から雨に変わり、やむなく中止 後刻雨が止む 参加者 広兼 宇吹 田中 成田 矢吹 宮岡 男性6名
- 9/15 大庭山 階段の手入れ 朽ちた階段の木の取り替え
- 9/16 大庭山 ツルハシ スコップを担いで 水路づくり 途中で知人に会う、後刻彼が追いついてお手伝いを買ってこられ、喜んでお手伝いをしていただく 約30分間が役に立ちました
- 9/17 大庭山 倒れ掛かった赤松(直径約 21cm)を二人で切断 枯れていないので時間がかかり、枝切にも手間取った 矢吹・宮岡
- 9/17 活動記録用カメラが所在不明 例会になくってはならないもの 探し廻るもダメ 10/2 やっと発見
- 10/6 ザ・ビックから黄色いキャンペーン ギフトカード到着 16,200円。早速パソコン用トナーの購入した

10月7日 例会

ところ 灰ヶ峰 銀明水

参加者 堀 矢吹 成田 広兼 柱野 田中 壇上 木村(智) 宇吹 今村 宮岡

男性10 女性1名 計11名

- 内 容 7月の豪雨で潰れた明水の復元作業 9/2例会だけではできなかったため 明水が地下に潜っていたので、掘り下げて水路を造った
- 明水を跨ぐ橋を一旦撤去して谷の石・岩を掘り出し作業を終えて、橋を元に戻す
- ツルハシ スコップを中心に テミ(竹でできた石・土砂を運ぶもの)を使って流れてきた石などを移動させた。中でも万能熊手(既製品の柄をさらに長く足して伸ばし、使いやすく工夫した道具)が活躍、自己流の改造が役に立った
- 作業は、最年長で建設関係に造詣の深い壇上氏の指導をあおぎながら、各自が持ち場に応じて活躍、参加者が一つになって無駄のない活動が出来た。 終了 11:30
- 作業前 以前の様な水が流れるかどうか疑問でしたが、立派に復元できた
- 18年前 当会が初めて取り組んだ整備が、ここ銀明水で、県の職員 自然保護の方4名 市役所 1名 当会5名で豪雨後の整備を手掛け、土嚢に石を詰めて石垣にしましたが、今も壊れず、その体験を生かして土嚢に石を詰めて石垣にした。
- 参加者は女性1名でしたが、いろいろな気配り・活動に感謝
- 田中氏から、またクッキーの差し入れをいただき休憩時に賞味
- 台風のため昨日は大変ひどい風 もし本日も同じように風がひどいと心配も無風でOK
- 次会例会 10月20日(土) 灰ヶ峰 檜林に沿った登山路へ 第3番目の展望台 午前9時集合
- 11月4日(日) 休山 (宮原5丁目から上がる) 山頂から 送電線までの整備

*ザ・ビック 毎月11日 黄色いキャンペーン 当会のボックスに投函をお願い活動をしよう

*協賛 げんき快福堂(整体院) 呉市広本町3丁目18-14 ☎73-7001 <たまき整形外科> 2軒隣り

*お酒は西条酒をかう 西条・山と環境機構 売り上げで積立金あり 森林ボランティアの助成制度



大庭山 赤松の倒木 切断前



明水に架かる橋撤去前



大庭山 倒れ掛かった松 伐採後



水が地下に潜らないように掘り込み中



左から堀 田中 矢吹 今村 柱野 広兼 木村 成田 宇吹 壇上



銀明水復活中



流れてきた石を運搬中



参加者全員がイチガントになって作業中